

# 囲碁ボール競技方法

種目名	囲碁ボール	人数	2～6人	場所	屋内
道具	マット、ボール白（10）黒（10）、スティック（2）				
ルール	<p>○ジャンケンで先攻をきめる。ジャンケンに勝ったチームが黒ボールを使用し打つ順番は先攻後攻交互に行う。</p> <p>○20個のボールをすべて打つことを「1局」といい、1局が終了したらアウトボールを取り除き点数を数える。</p> <p>○次の局は、前局で得点の高いチームが先攻となる。※同点の場合は前局の先攻チームが先攻のまま</p> <p>○1試合は5局の総合計</p> <p>試合時間30分試合途中で30分が経過した場合、その局は続けることができるが次の局は行えない。</p> <p>○得点</p> <p>得点は1局終了後、目（穴）に正しく入っているボールをセーフボールとしこれをライン得点とポイント得点で計算する</p> <p>①ライン得点（自チームのボールが縦、横、斜めのいずれかの目（穴）に3つ以上並ぶとライン得点となる。並んだ数を「目」といい、できた組数を「連」といい6目以上は無効でライン得点が無効となり、ポイント得点のみとなる。</p> <p>②ポイント得点</p> <p>セーフボールとして入っているボールの数がポイント得点となる。10個のボール全部がセーフで、ポイント得点「10」の場合は、ポイント得点のほか、特別にライン得点「5目1連」が与えられる。</p> <p>○勝敗</p> <p>①初めにライン得点を見る。</p> <p>5目、4目、3目の順に、多い「目」において「連」がいくつあるかを比べる。数の多い「目」があるチームが勝ち。「目」が同じ場合は「連」の多いチームが勝ち。</p> <p>②次にポイント得点を見る。</p> <p>当然、ポイント得点の多い方が勝ち。しかし、ライン得点の方が優先するため、いくらポイント得点が多くても、勝ちにならない場合がある。</p> <p>ライン得点がすべて同じ場合のみ、ポイント得点の勝負となる。0ライン得点でポイント得点も同じ場合は、いずれかの局で高いポイント得点のあるチームが勝ち。</p> <p>③さらに同じ場合は、トスで決める。</p>				
	<p>【図解】</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>セーフボール</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>アウトボール</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>セーフボール</p> </div> </div>				
					